



時を守り、場を清め、礼を正す

(2 学期始業式でのお話から)

○2 学期は、『時を守り、場を清め、礼を正す』という言葉大切にしたいと思います。この言葉は、明治時代の哲学者であり教育学者でもあった森 信三という人が述べられた言葉だそうです。教育の中でよく使われる言葉であり、心を育てる上でとても大切な言葉です。

『時を守り』とは、文字通り『時間を守る』ということです。時間を守るということは、他の人から信頼を得るためにも、相手を尊重しているということを相手に理解してもらうためにも大切なことです。『約束を守る』ということにも通じる言葉かもしれませんね。だから、時間を守れない人は信用されないということです。



夏休みが明けて、チャイムのある生活がもどってきました。まずは、時間を守り、学校や学級の約束を守って、規則正しい生活・けじめのある生活を送りましょう。

『場を清め』とは、『掃除をする』ということです。この言葉には、自分の生活場所をきれいにするとともに、『心をきれいにする』『謙虚になれる』『感謝の心が生まれる』『気がつく人になれる』といった意味が含まれます。自分の部屋や教室が汚ければ勉強する気になれないでしょう。『自分のいる場所をきれいにすると心もきれいになる』ということを信じて常に身の回りをきれいにし、美しい学校を築いていきましょう。



『礼を正す』とは、『あいさつや返事をしっかりする・服装をきちんとする』ということです。これは礼儀の基本です。『あいさつ』や『返事』は、人間関係の第一歩。目線を合わせて、明るい笑顔でする『あいさつ』や『返事』は、人の心を和ませ、うれしくさせ、人と人とのつながりを深めるものです。あいさつができない、あいさつを無視する、そんな学校ではじめが起きやすいとも言われています。今一度笑顔での挨拶を心がけてみましょう。

『服装を正す』ことも、『礼を正す』大切な行動です。その場にふさわしい、学校のきまりにふさわしい服装が大切です。それは、相手やその場に対する礼儀でもあります。『服装の乱れは心の乱れにつながる』というのは、以前からもよく言われている言葉です。学校外の生活でも気をつけたいものです。



『時を守り、場を清め、礼を正す』 この言葉をしっかり覚えて、実践できる人になりましょう。そして、2 学期も、『元気に登校、楽しく学んで、笑顔で下校』という言葉通りの学校を、みんなの力でつくっていきましょう。